

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年12月24日 (2010.12.24)

【公表番号】特表2009-513668(P2009-513668A)

【公表日】平成21年4月2日 (2009.4.2)

【年通号数】公開・登録公報2009-013

【出願番号】特願2008-538001(P2008-538001)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/22 (2006.01)

A 6 1 P 33/00 (2006.01)

A 6 1 K 47/02 (2006.01)

A 6 1 K 47/04 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 9/12 (2006.01)

A 6 1 K 9/107 (2006.01)

A 6 1 K 9/14 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 43/00 1 0 5

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 31/22

A 6 1 P 33/00

A 6 1 K 47/02

A 6 1 K 47/04

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 9/12

A 6 1 K 9/107

A 6 1 K 9/14

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月27日 (2009.10.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

動物の眼の異常な繊維成長、線維症または瘢痕化を低下または予防するための、生物活性脂質に反応性の免疫誘導成分を含む医薬組成物であって、ここで該免疫誘導成分は該生物活性脂質の有効濃度を低下することができる、医薬組成物。

【請求項 2】

動物の眼の外科的および外傷的創傷治癒応答を調節するための、生物活性脂質に対して反応性である免疫誘導成分を含む医薬組成物であって、ここで該免疫誘導成分は該生物活性脂質の有効濃度を低下させることができる、医薬組成物。

【請求項 3】

動物の眼の炎症を低下または予防するための、生物活性脂質に対して反応性である免疫誘導成分を含む医薬組成物であって、ここで該免疫誘導成分は該生物活性脂質の有効濃度を低下させることができる、医薬組成物。

【請求項 4】

動物の眼の異常な新血管形成を低下または予防するための、生物活性脂質に対して反応性である免疫誘導成分を含む医薬組成物であって、ここで該免疫誘導成分は該生物活性脂質の有効濃度を低下させることができる、医薬組成物。

【請求項 5】

動物における眼球の免疫応答を減退させるための、生物活性脂質に対して反応性である免疫誘導成分を含む医薬組成物であって、ここで該免疫誘導成分が該生物活性脂質の有効濃度を低下させることができる、医薬組成物。

【請求項 6】

動物における生物活性脂質の有効な眼球濃度または活性を低下させるための、生物活性脂質に対して反応性である免疫誘導成分を含む医薬組成物であって、ここで該免疫誘導成分は該生物活性脂質の有効濃度を低下させることができる、医薬組成物。

【請求項 7】

免疫誘導成分が、モノクローナル抗体またはそのフラグメント、変形物または派生物である、請求項1-6いずれか一項記載の医薬組成物。

【請求項 8】

生物活性脂質がリゾリピドである、請求項1-6いずれか一項記載の医薬組成物。

【請求項 9】

リゾリピドが、S1PまたはLPA、またはその変形物である請求項8記載の医薬組成物。

【請求項 10】

免疫誘導成分が、S1PまたはLPA、またはその変形物に対して反応性であるモノクローナル抗体である、請求項1-6いずれか一項記載の医薬組成物。

【請求項 11】

動物がヒトである、請求項1-6いずれか一項記載の医薬組成物。

【請求項 12】

対象における眼球疾患または症状を処置するための、生物活性脂質に対して反応性である免疫誘導成分を含む医薬組成物であって、ここで該免疫誘導成分は生物活性脂質の有効濃度を低下させることができる、医薬組成物。

【請求項 13】

免疫誘導成分が、モノクローナル抗体またはそのフラグメント、変形物または派生物である、請求項12の医薬組成物。

【請求項 14】

生物活性脂質がリゾリピドである、請求項12記載の医薬組成物。

【請求項 15】

リゾリピドが、S1PまたはLPA、またはその変形物である、請求項14記載の医薬組成物。

【請求項 16】

免疫誘導成分が、S1PまたはLPA、またはその変形物に対して反応性であるモノクローナル抗体である、請求項13記載の医薬組成物。

【請求項 17】

対象がヒト対象である、請求項12記載の医薬組成物。

【請求項 18】

眼球疾患または症状が、少なくとも部分的には、異常な繊維成長、線維症または瘢痕化を特徴とする、請求項12記載の医薬組成物。

【請求項 19】

少なくとも部分的には異常な繊維成長、線維症または瘢痕化を特徴とする眼球疾患または症状が、加齢黄斑変性症、糖尿病性網膜症、未熟児網膜症、鎌状赤血球網膜症、虚血性網膜症、網膜血管閉塞性疾患、マクラパッカー、セロファン網膜症、ERM形成、コンタクトレンズ過剰装着、牽引性網膜剥離、増殖性硝子体網膜症、外傷、眼球瘢痕性類天疱瘡、ステーブンス・ジョンソン症候群、中毒性表皮壊死剥離症、翼状片、ならびに屈折矯正手術、硝子体茎切除術および緑内障手術を含む眼球手術の影響、からなる群から選択される、請求項18記載の医薬組成物。

【請求項 20】

眼球疾患または症状が、炎症性または免疫学的症状である、請求項12記載の医薬組成物。

【請求項 21】

炎症性または免疫学的症状が、加齢黄斑変性症、ブドウ膜炎、硝子体炎、単純ヘルペス感染、ヘルペス帯状疱疹感染および原虫感染症を包含する感染症；角膜移植片拒絶反応および眼球ヒストプラズマ症からなる群から選択される、請求項20記載の医薬組成物。

【請求項 22】

眼球疾患または症状が、少なくとも部分的には異常な新血管形成を特徴とする、請求項12記載の医薬組成物。

【請求項 23】

少なくとも部分的には、異常な新血管形成を特徴とする眼球疾患または症状が、加齢黄斑変性症、糖尿病性網膜症、未熟児網膜症、角膜移植片拒絶反応、血管新生緑内障、コンタクトレンズ過剰装着、単純ヘルペス感染、ヘルペス帯状疱疹感染および原虫感染症を包含する角膜の感染症、翼状片、虚血性網膜症、網膜血管閉塞性疾患、伝染性ブドウ膜炎、慢性網膜剥離、レーザー損傷、鎌状細胞網膜症、血管閉塞疾患、脈絡膜の新血管形成、網膜血管腫増殖ならびに突発性ポリープ状脈絡膜血管症からなる群から選択される、請求項22記載の医薬組成物。

【請求項 24】

免疫誘導成分が、硝子体内または眼周囲の注射、イオントフォレーシス、スプレーまたは点眼によるか、または、イン・シチュのゲル、眼球挿入体、角膜保護物またはコンタクトレンズ、リポソーム、ニノソーム/ジスコーム、粘膜接着系、凍結乾燥担体系、微粒子、サブミクロンエマルジョン、デンドリマー、ミクロスフェアー、ナノスフェアーまたはコラソームの一部として、またはその組合せにより全身的、局所的に投与される、請求項12記載の医薬組成物。

【請求項 25】

免疫誘導成分が、エンハンサーおよび／または浸透性エンハンサーを含んでまたは含まずに修飾されるか、修飾されないか、またはプロドラッグとして提供される、請求項12の医薬組成物。

【請求項 26】

医薬上許容し得る担体中に生物活性脂質に対して反応性である免疫誘導成分を含んでいる、医薬組成物。

【請求項 27】

眼内および／または眼上で使用するために適当である、請求項26記載の医薬組成物。

【請求項 28】

医薬組成物がリン酸塩緩衝生理食塩水を含む、請求項26記載の医薬組成物。

【請求項 29】

対象における強皮症を処置するための、生物活性脂質に対して反応性である免疫誘導成分を含む医薬組成物であって、ここで該免疫誘導成分は該生物活性脂質の有効濃度を低下させることができる、医薬組成物。

【請求項 30】

医薬組成物が、全身的、経皮的、皮下的、経粘膜的、吸入によりまたは局所的に投与される、請求項29記載の医薬組成物。

【請求項 3 1】

対象がヒト対象である、請求項29記載の医薬組成物。